



組立および操作説明書

REGO-FIX toolVibe® Tablet

はじめに

名称: REGO-FIX toolVibe® Tablet

製造者: REGO-FIX AG, Obermattweg 60, CH-4456 Tenniken (スイス)
電話 +41 61 976 14 66, info@rego-fix.com

技術的変更: 製造者は技術的改善の観点から変更を加える権利を留保します。

文書番号: 6000.12420

本使用説明書は、全利用期間に渡って保管されなければなりません。
必ずお読みください。



目次

1. 一般	6	4. toolVibe®パワープラグ	15
1.1 この説明書について	6	4.1 技術データ	15
1.2 保証	7	4.2 構造、説明および使用	15
1.3 同梱物	7		
2. 安全に関する基本的な注意事項	7	5. toolVibe®充電ケーブル	15
2.1 製品の安全性	7	5.1 技術データ	15
2.2 目的に則した使用方法	8	5.2 構造および説明	16
2.3 誤った使用方法	8	5.3 toolVibe®充電ケーブルの使用	17
2.4 構造上の変更	8	5.4 整備	18
2.5 交換部品	8	5.5 取り外し	19
2.6 周囲環境および使用条件	8	5.6 保管	19
2.7 人員の資格	8		
2.8 運用者の責任	9	6. toolVibe®タブレットおよびtoolVibe®アプリ	19
2.9 保護装備	9	6.1 技術データ	19
2.10 安全な運転に関する注意事項	9	6.2 toolVibe®タブレットの構造および説明	20
2.11 電磁両立性	9	6.3 一般注意事項	20
2.12 運搬	10	6.4 toolVibe®タブレットとtoolVibe®アプリのセットアップ	21
2.13 取り外し、分解、保管	10	6.5 toolVibe®タブレットとtoolVibe®アプリの操作	23
2.14 不具合	10	6.6 toolVibe®タブレットの充電	41
2.15 整備	10	6.7 toolVibe®タブレットの清浄	42
2.16 廃棄	11	6.8 保管	42
2.17 一般的な危険	11		
3. toolVibe®タブレットシステム	12	7. トラブルシューティング	43
3.1 技術データ	12		
3.2 構造および説明	13	8. 廃棄	44
3.3 運搬	14		
3.4 保管	14	9. EU適合宣言	45

1. 一般

1.1 この説明書について

本説明書には、製品を安全かつ適切に使用するための重要な情報が記載されています。

本説明書は製品に付属するものです。スタッフがいつでもアクセスできるような状態で保管してください。

作業を開始する前に、スタッフはこの説明書をしっかりと読み、内容を理解していなければなりません。安全な作業の前提条件は、本説明書に記載されているすべての安全に関する指示を守ることです。

本説明書に加え以下の文書もご用意しています ▶ 1.1.3 [図 7]。

注意事項: 本説明書のイラストは基本的な構造を理解してもらうためのものであり、実際のモデルとは異なることがあります。

1.1.1 用語の定義

《製品》は、本取扱説明書の表紙に記載されている製品名称および全てのコンポーネントを含むシステム全体を意味します。

1.1.2 警告内容の表記

危険をよりわかりやすく表示するために以下のサインやシンボルを使用しています。

⚠ 危険 ⚠	
	人体への危険! 指示に従わない場合、重傷または生命を脅かす負傷につながります。

⚠ 警告 ⚠	
	人体への危険! 指示に従わない場合、重傷または生命を脅かす負傷の危険があります。

⚠ 注意 ⚠	
	人体への危険! 指示に従わない場合、軽傷の危険があります。

⚠ 注意事項 ⚠	
	物的損害! 物品の破損を防止するための情報。



1.1.3 適用される文書

- ▲ 一般取引条件*
 - ▲ 契約書
 - ▲ 各コンポーネント(toolVibe®タブレットまたはtoolVibe®パワープラグなど)の付属文書
- アスタリスク(*)の付された文書は rego-fix.com でダウンロードすることができます。

1.2 保証

保証期間は、以下の条件が満たされている場合、工場出荷日から24ヶ月間です：

- ▲ 適用される文書の内容が遵守されている ▶ 1.1.3 [図 7]。
- ▲ 適切な周囲環境および使用条件で運転されている ▶ 2.6 [図 8]。
- ▲ 指示通りに整備が行われている。

保証と摩耗部品に関する特別な取り決めがある場合は、例外となります。
原則として、ツールや機械に接触する部品は保証の対象外です。

1.3 同梱物

納品内容：

- ▲ 1×toolVibe®タブレット
- ▲ 1×toolVibe®充電ケーブル(部品番号 7589.00000)
- ▲ 1×toolVibe®パワープラグ
- ▲ 1×toolVibe®タブレット充電ケーブル
- ▲ 1×toolVibe®ケース
- ▲ 1×取り付け・取扱説明書(部品番号 6000.12420)

2. 安全に関する基本的な注意事項

2.1 製品の安全性

本製品は最新技術を採用し、一般的に認められている安全規制に則して作られた製品です。
しかしながら、以下の場合などに危険が発生することがあります：

- ▲ 製品が目的に則した方法で使用されなかった場合。
- ▲ 製品の取り付け、整備、保管、運搬が不適切に行われた場合。
- ▲ 本説明書に記載されている安全および取り付けに関する指示が守られていない場合。

製品を、機能や操作上の安全性を損ないえる方法で取り扱わないでください。

2.2 目的に則した使用方法

- ▲ 本製品は工作機械で使用されるtoolVibe(toolVibe®)のプロセスデータ記録のみを目的としたものです。
- ▲ 本製品は、製造元でインストールされているソフトウェア«toolVibe®アプリ»との併用でのみ使用・操作を行うことができます。
- ▲ 本製品は、技術データの仕様範囲内でのみ使用することができます。
- ▲ 本製品は工業用です。
- ▲ また、本取扱説明書に記載されているすべての情報を遵守することも目的に則した使用方法の一部です。

2.3 誤った使用方法

以下のような場合、誤った使用とみなすことができます：

- ▲ REGO-FIXが明示的に承認していない機器に接続された場合
- ▲ 本製品の使用および操作において、技術データの仕様が遵守されていない場合
- ▲ 本製品を腐食性の媒体にさらして使用
- ▲ 整備・保管の指示が遵守されていない場合

2.4 構造上の変更

構造上の変更

ネジ、穿孔穴、安全装置の追加といった、改造、変更、再加工は、機能や安全性を損なったり、製品に損傷を与えることがあります。

- ▲ 構造上の変更は、REGO-FIXの書面による許可を得た場合にのみ実施することができます。

2.5 交換部品

承認されていない交換部品の使用

承認されていない交換部品を使用した場合、人体への危険や本製品の破損、故障の原因となることがあります。

- ▲ 純正交換部品およびREGO-FIXが認定した交換部品のみを使用してください。

2.6 周囲環境および使用条件

周囲環境および使用条件に関する要件

周囲環境や使用条件が適切でない場合、重傷や物品の破損につながり、また、耐用年数を著しく短縮してしまうことがあります。

2.7 人員の資格

スタッフの資格が不十分な場合

十分な資格を持たないスタッフが本製品での作業を行った場合、重傷や物品の破損につながる危険があります。

- ▲ すべての作業は有資格者が実施するものとします。
- ▲ 作業を開始する前に、スタッフは全ての説明書を読み、その内容を理解していなければなりません。
- ▲ 各国で適用されている事故防止規則および一般的な安全に関する指示に従ってください。

本製品におけるさまざまな作業のために、スタッフには以下のような資格が必要となります：

専門スタッフ

専門スタッフとは、専門的訓練を受け、その作業に必要な知識および経験を有し、潜在的な危険を認識・回避し、その作業に関連する規格や規則に精通した人員です。



任務されたスタッフ

任務されたスタッフとは、任務に関して、またその任務において不適切な行動をとることで起こりうる危険に関しての指示を受けた人員です。

製造者のサービス担当者

製造者のサービス担当者とは、専門的訓練を受け、その作業に必要な知識および経験を有し、潜在的な危険を認識・回避できる人員です。

2.8 運用者の責任

以下確認することは運用者の責任です：

- ▲ 本製品が目的に則した方法で使用されていること。
- ▲ 本製品が欠陥がなく正しく機能している状態でのみ運転されていること。
- ▲ 製品が正しく機能していることが定期的に点検されていること。
- ▲ 取扱説明書が常に欠落なくかつ読みやすい状態で製品の近くに保管されていること。
- ▲ 本製品の操作および整備は、十分な資格を有し、その任務を任されたスタッフのみが行っていること。
- ▲ 担当者が取扱説明書の内容、特にそこに記載されている安全に関する指示を理解していること。
- ▲ スタッフが労働安全および環境保護に関して定期的に指導を受けていること。

2.9 保護装備

保護装備の着用

保護装備は、作業中の安全または健康に影響を及ぼす危険からスタッフを保護するために使用されます。

- ▲ 本製品を使用して作業を行う際には、安全衛生規則を遵守し、作業に必要な保護装備を着用してください。
- ▲ 適用される安全規則および事故防止規則を遵守してください。
- ▲ 鋭利なエッジ、鋭利な角、粗い表面に接する場合は保護手袋を着用してください。
- ▲ 表面が高温になる場合は耐熱性の保護手袋を着用してください。
- ▲ 危険物を取り扱う場合は保護手袋とゴーグルを着用してください。
- ▲ 稼働部品の付近での作業では、ぴったりとフィットした防護服を着用し、長髪の場合はヘアネットを着用してください。

2.10 安全な運転に関する注意事項

スタッフによる不適切な作業

不適切な方法で作業を行うと、重傷や物品の破損につながる危険があります。

- ▲ 製品を、機能や操作上の安全性を損ないえる方法で取り扱わないでください。
- ▲ 本製品は目的に則した方法で使用されていなければなりません。
- ▲ 安全および取り付けに関する指示に従ってください。
- ▲ 本製品を腐食性の媒体にさらして使用しないでください。特殊な環境条件が認められている製品は除きます。
- ▲ 不具合は直ちにに取り除いてください。
- ▲ 整備および手入れの指示に従ってください。
- ▲ 使用される範囲で適用される安全、事故防止、環境保護に関する規制を遵守してください。

2.11 電磁両立性

このシステムは、IEC 61326-2-6、IEC 61326-1、IEC 61000-6-2、IEC 61000-6-4に示されているエミッション要件およびイミュニティ要件に準拠しています。このシステムは、CISPR 11 Class A に準拠するよう設計・テストされています。各国の環境下では、このシステムが電波干渉を引き起こす可能性があります。その場合、運用者または運用企業が干渉を軽減するための措置を取らなければならないことがあります。

2.12 運搬

運搬に関する注意

誤った方法で運搬を行うと、重傷や物品の破損につながる危険があります。

- ▲ 製品が重い場合は、ホイストで持ち上げ、移動には適切な運搬手段を使用してください。
- ▲ 運搬中や取り扱い中には、製品が落下しないように固定してください。
- ▲ 吊り上げられたものの下に留まらないでください。

運搬中の製品の損傷を避けるため、以下の点に注意してください：

- ▲ 水分の侵入から製品を保護（適切な包装など）
- ▲ 技術データで指定されている周囲条件を遵守
- ▲ 製品を振動や衝撃から保護
- ▲ 運搬前にすべてのケーブル接続を外す
- ▲ 製品部品と付属品を所定の窪みに収める
- ▲ ケースのラッチは必ずロック

2.13 取り外し、分解、保管

取り外し、解体、保管の際に製品が損傷しないよう、以下の点に注意してください：

- ▲ タブレットは保管のための梱包前に少なくとも80%まで充電し、完了後シャットダウンしてください。

2.14 不具合

不具合が発生した場合

- ▲ 製品の運転を速やかに停止し、不具合を責任ある部署/担当者に報告してください。
- ▲ 不具合はその訓練を受けた人員が対処するものとします。
- ▲ 不具合が解消されるまで、製品を稼働させないでください。
- ▲ 不具合があった製品は、運転開始前にそれが正常に機能し、その他危険発生していないことを確認してください。

2.15 整備

長期間潤滑に使用できるよう、定期的に清掃と整備を行い、製品の機能をチェックしてください。

修理はREGO-FIXのみが実施するものです。

整備や修理に関するご質問は、テクニカル・カスタマー・サービスまでお問い合わせください。
営業時間内で受付けています：

サービス電話： +41 61 976 1466
pm@rego-fix.com

指定の整備インターバルはREGO-FIXの経験に基づく推奨です。周囲環境条件や使用条件、製品のクランプ頻度に応じて、整備間隔を適宜調整し、それを次のために記録してください。
整備インターバルに2つ以上の指定がある場合は、早い方を適用してください。

必要な整備作業が完了したら、必要な設定を行い、機能テストを再度実施してください。

2.16 廃棄

廃棄に関する注意

誤った方法で廃棄を行うと、重傷や物品の破損、環境汚染につながる場合があります。

- ▲ 製品の構成部品は、地域の規制に従ってリサイクルする、または、適切に廃棄してください。



電気電子廃棄物指令(WEEE)に則し、廃棄の際には以下の点にご注意ください：

- ▲ 本製品を一般ごみと一緒に廃棄しないでください。
本製品の回収・リサイクルには、必ず回収／リサイクルセンターをご利用ください。

2.17 一般的な危険

一般

- ▲ 安全距離を維持してください。
- ▲ 安全装置は絶対に無効にしないでください。取付、改造、整備、調整作業を行う前には、通電を遮断してください。
システムの通電がないことを確認してください。

2.17.1 取り扱いおよび取り付け時の保護

不適切な取り扱いや取り付け

本製品の取り扱い・取り付けの際に不適切な行動をとると、重傷や物品の破損、環境汚染につながる場合があります。

- ▲ すべての作業は有資格者のみが実施するものとします。
- ▲ 適用される事故防止規則に従ってください。
- ▲ 適切な組立・運搬装置を使用してください。
- ▲ 挟りや圧潰がないよう措置を講じてください。

2.17.2 試運転および運転中の保護

構成部品が落下したり飛散したりすると、重傷または生命を脅かす負傷につながる場合があります。

- ▲ toolVibe®の取扱説明書の指示に従ってください。
- ▲ toolVibe®は、安全保護装置が閉じている機械でのみ使用してください。
- ▲ toolVibe®の許容回転域を超えないように注意してください(toolVibe®の取扱説明書を参照)。

3. toolVibe® タブレットシステム

3.1 技術データ

3.1.1 製品データ

一般技術データ	値
部品番号	7580.00000
長さ	350 mm
幅	420 mm
高さ	190 mm
重量	5.75 kg
無線接続の範囲	2 m

3.1.2 周囲環境および使用条件

周囲環境および使用条件	値
動作温度範囲	+20° C～+50° C
運搬温度範囲	+20° C～+50° C
保管温度範囲	+20° C±10° C

3.1.3 互換性のある機器

- ▲ toolVibe®ツールホルダー
- ▲ toolVibe®マグネットホルダー

留意!本製品は互換性のある機器にのみ接続することができます。

3.2 構造および説明

3.2.1 構造



1	toolVibe®タブレット充電ケーブル
2	toolVibe®充電ケーブル
3	toolVibe®パワープラグ
4	toolVibe®ケース
5	toolVibe®タブレット

3.2.2 機能の説明

本製品はtoolVibe®タブレット、toolVibe®アプリ、アクセサリーの一式です。toolVibe®ツールホルダとの併用で、工作機械のプロセスデータを記録・表示することができます。

加工プロセス中、そこで発生する振動がtoolVibe®センサーによって検出され、ワイヤレス接続を介してtoolVibe®タブレットに送信されます。toolVibe®タブレットにインストールされているtoolVibe®アプリを使用して、記録されたデータを表示、監視、エクスポートすることができます。

3.3 運搬

⚠ 注意 ⚠	
	吊り荷による負傷の危険! 落下は、負傷につながる場合があります。 ▲ toolVibe®ケースはハンドルを握って持ち運びしてください。 ▲ toolVibe®ケースが正しく閉められていることを確認してください。 ▲ 適切な保護装備、特に安全靴と保護手袋を着用してください。

⚠ 注意事項 ⚠	
	製品破損の危険。 不適切な方法での運搬は、製品に損傷を与え、その機能を制限してしまうことがあります。 ▲ 運搬中、ものにぶつけないよう注意してください。

- ▲ 本製品の各コンポーネントはtoolVibe® ケースに正しく収納してください。
- ▲ toolVibe®ケースを閉じます。
- ▲ toolVibe®ケースはハンドルを握って持ち運びしてください。

3.4 保管

toolVibe®システムを長期間保管する場合は、以下の点にご注意ください：

- ▲ toolVibe®タブレットシステムは必ず乾燥した場所に保管してください。
- ▲ 極端な温度の変化からtoolVibe®タブレットシステムを守ってください。
- ▲ 技術データに記されている保管温度範囲をご確認ください。

4. toolVibe® パワープラグ

4.1 技術データ

4.1.1 製品データ

一般技術データ	値
重量	0.12 kg
入力	100V～250V
出力	5 V – 2400 mA 2 x USB-A

4.1.2 周囲環境および使用条件

周囲環境および使用条件	値
動作温度範囲	+20° C～+50° C
運搬温度範囲	-10° C～+50° C
保管温度範囲	+20° C±10° C

4.2 構造、説明および使用

toolVibe® パワープラグの構造、説明、使用、警告内容の表記に関するすべての情報は、電源アダプター製造元の取扱説明書に記載されています。

注意事項: 取扱説明書は toolVibe® ケースに同梱されています。

5. toolVibe® 充電ケーブル

5.1 技術データ

5.1.1 製品データ

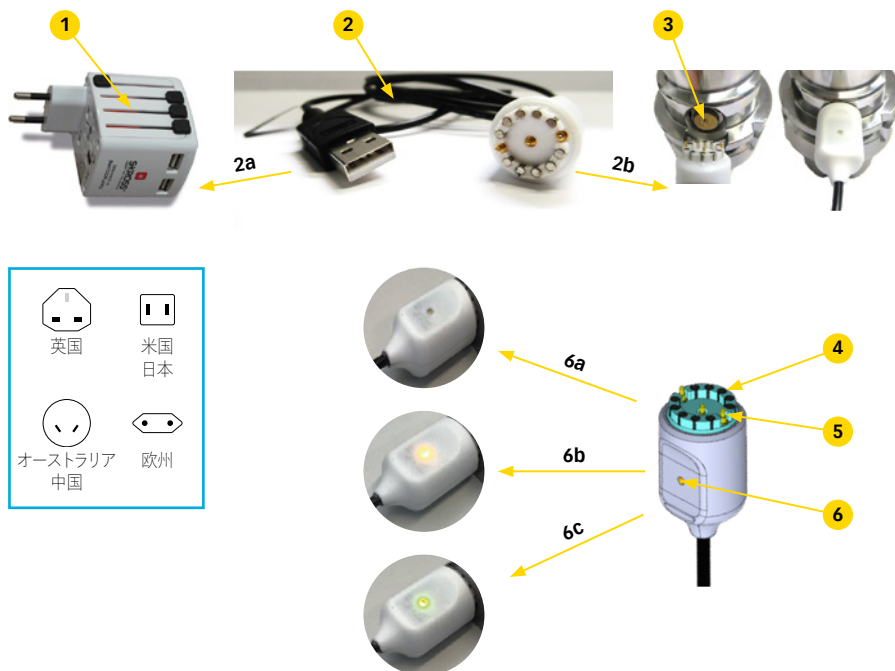
一般技術データ	値
部品番号	7589.00000
重量	0.05 kg
電力消費量	5V 最大0.45A USB-A
ケーブル長	1.5 m

5.1.2 周囲環境および使用条件

周囲環境および使用条件	値
動作温度範囲	+18° C～+25° C
製品温度(最大)	+35° C
ひずみ率検証試験温度	+23° C±2° C
保管温度	+20° C±10° C

5.2 構造および説明

5.2.1 構造



- | | |
|---|---|
| 1 | toolVibe*パワープラグ |
| 2 | toolVibe*充電ケーブル
a) USB-A接続
b) 電気接続toolVibe*充電ケーブル |
| 3 | 充電接点 toolVibe* |
| 4 | マグネット |
| 5 | 充電ピン |
| 6 | toolVibe*の充電ステータスを表示するLEDディスプレイ
a) LEDが点灯しない: 充電していません
b) LEDがオレンジ色に点灯: 充電中
c) LED が緑色に点灯: toolVibe*フル充電完了 |

5.2.2 機能の説明

toolVibe*充電ケーブルは、toolVibe*パワープラグとtoolVibe*を接続します。この充電ケーブルを介してtoolVibe*のバッテリーが充電されます。toolVibe*の現在の充電状態はtoolVibe*チャージャーに搭載されたLEDディスプレイで確認することができます。

5.3 toolVibe®充電ケーブルの使用

⚠ 警告 ⚠	
	通電している部品には感電の危険があります！ 通電している部品には感電による重傷の危険があります。 ▲ 充電ピンには触れないでください。 ▲ 充電ピンの上に金属屑などの導電性物質がないことを確認します。 ▲ toolVibe®充電ケーブルに損傷がないか定期的に点検してください。 ▲ toolVibe®充電ケーブルは乾燥した場所でのみ使用してください。 ▲ 適切な保護装備を着用してください。

⚠ 注意 ⚠	
	つまずきや転倒による負傷の危険！ toolVibe®充電ケーブルを人が通る場所で使用すると、つまずきや転倒による負傷の原因となります。 ▲ toolVibe®充電ケーブルは操作員の可動範囲に取り回さないでください。 ▲ toolVibe®充電ケーブルは人が通る場所に取り回さないでください。

⚠ 注意事項 ⚠	
	水分による物的損害。 toolVibe®充電ケーブルに水分が侵入すると、toolVibe®充電ケーブルが破損し、機能が損なわれることがあります。 ▲ toolVibe®充電ケーブルは水分から保護してください。

⚠ 注意事項 ⚠	
	ケーブルの不適切な取り回しによる物的損害。 不適切な方法でのケーブルの取り回しは、ケーブルに損傷を与え、その機能を制限する可能性があります。 ▲ toolVibe®充電ケーブルは折り曲げないでください。 ▲ toolVibe®充電ケーブルをクリップなどで挟み付けないでください。

1. toolVibe®充電ケーブルとtoolVibe®の接触面を清浄します。
2. 充電ピンの上に金属屑などの導電性物質がないことを確認します。
留意！充電ピンの上に金属屑などの導電性物質があると、短絡の危険となります。
3. toolVibe®充電ケーブルをUSB-A接続を使ってtoolVibe®パワープラグと接続します。
4. toolVibe®充電ケーブルの電気接続部を、マグネットでtoolVibe®の充電接点に取り付けます。
▶ toolVibe®充電ケーブルがはまり、充電ステータスLEDがオレンジ色に点灯します。

注意事項: LEDが点灯しない場合は、toolVibe®充電ケーブルとtoolVibe®が正しく接触していません。

toolVibe®の充電ステータスを表示するLEDディスプレイ

LEDが点灯しない	充電していません
LEDがオレンジ色に点灯	充電中
LEDが緑色に点灯	toolVibe®フル充電完了

注意事項: toolVibe®の正確な充電状態は、toolVibe®アプリで確認することができます ▶ 6.5.1 [□ 23]。

5.4 整備

5.4.1 インターバルと作業

作業	インターバル
充電ピンの清浄と点検	毎回使用前または必要に応じて

5.4.2 充電ピンの清浄と点検

⚠ 警告 ⚠



通電している部品には感電の危険があります！

通電している部品に触れると感電による重傷につながる場合があります。

- ▲ toolVibe®充電ケーブルを電源から外します。
- ▲ 充電ピンには触れないでください。
- ▲ toolVibe®充電ケーブルに損傷がないか定期的に点検してください。
- ▲ 適切な保護装備を着用してください。

⚠ 注意 ⚠



汚物粒子による目の損傷！

圧縮空気での清浄時に、飛散した汚物粒子が目に入り負傷する危険があります。

- ▲ 適切な保護装備、特にゴーグルを着用してください。

1. toolVibe®充電ケーブルを電源から外します。
2. 圧縮空気で切り屑や汚れを取り除きます。
3. 付着した汚れを適切な工具で丁寧に取り除きます。
4. 充電ピンをアルコール含有洗浄剤で洗浄します。
5. 充電ピンをきれいな布で乾拭きします。
6. 充電ピンとtoolVibe®充電ケーブルに損傷や摩耗がないか点検します。

注意事項: 破損や摩耗はある場合、製品の機能が損なわれることがあります。製品の交換不可能な部品に摩耗または破損が見られる場合は、製品をREGO-FIXに返送し、点検を受けてください。

5.5 取り外し

⚠ 警告 ⚠	
	通電している部品には感電の危険があります！ 通電している部品には感電による重傷の危険があります。 ▲ toolVibe®充電ケーブルを電源から外します。 ▲ 充電ピンには触れないでください。 ▲ toolVibe®充電ケーブルに損傷がないか定期的に点検してください。 ▲ 適切な保護装備を着用してください。

1. toolVibe®充電ケーブルを電源から外します。
2. toolVibe®充電ケーブルをtoolVibe®パワープラグから外します。
3. toolVibe®充電ケーブルをtoolVibe®から外します。

5.6 保管

toolVibe®充電ケーブルを長期間保管する場合は、以下の点にご注意ください：

- ▲ toolVibe®充電ケーブルは適切な運搬用ケースに入れて保管してください。
- ▲ toolVibe®充電ケーブルは必ず乾燥した場所に保管してください。
- ▲ 極端な温度の変化からtoolVibe®充電ケーブルを保護してください。
- ▲ toolVibe®充電ケーブルは折り曲げないでください。
- ▲ 技術データに記されている保管時の温度指定をご確認ください。

6. toolVibe®タブレットおよびtoolVibe®アプリ

6.1 技術データ

6.1.1 製品データ

一般技術データ	値
部品番号	5540.91550
寸法	255 x 165 x 28 mm
重量	0.7 kg
電力消費量	5V 最大450mA USB-C
ケーブル長 接続ケーブル	2 m
無線電波	2.4 GHz

toolVibe®タブレットの詳細に関しては製造元の取扱説明書をご覧ください。

注意事項: 取扱説明書は toolVibe®ケースに同梱されています。

6.1.2 周囲環境および使用条件

周囲環境および使用条件	値
動作温度範囲	+20° C～+50° C
運搬温度範囲	-10° C～+50° C
保管温度範囲	+10° C～+30° C

6.2 toolVibe®タブレットの構造および説明

toolVibe®タブレットの構造および注意事項に関する全ての情報は、タブレット製造元の取扱説明書に記載されています。

注意事項: 取扱説明書は toolVibe®ケースに同梱されています。

6.3 一般注意事項



⚠ 注意事項 ⚠

センサーデータの送信エラー。

障害物や周囲からの電磁干渉により、センサーデータ送信時に送信エラーが発生することがあります。

- ▲ センサーデータが正しいものであるかの判断はユーザーの裁量で行うものであり、ユーザーの責任となります。



⚠ 注意事項 ⚠

水分による物的損害。

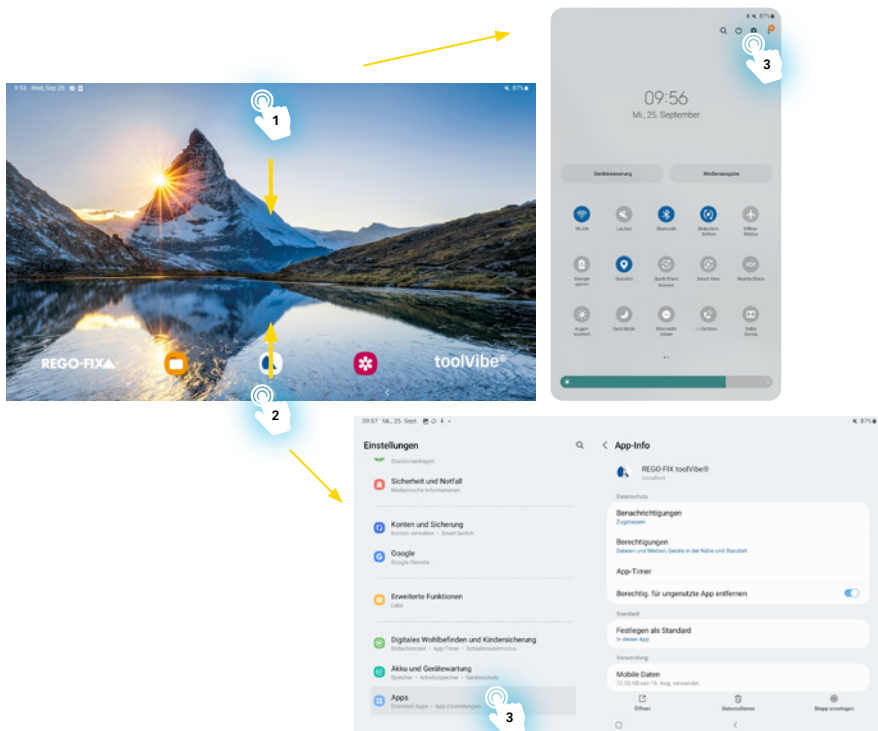
toolVibe®タブレットに水分が侵入すると、toolVibe®タブレットが破損し、機能が損なわれることがあります。

- ▲ toolVibe®タブレットは水分から保護してください。

toolVibe®タブレットの使用に関連する注意事項と危険に関する情報は、タブレット製造元が発行する《クイックスタート》説明書に記載されています。《クイックスタート》説明書は toolVibe® ケースに同梱されています。

6.4 toolVibe®タブレットとtoolVibe®アプリのセットアップ

1. toolVibe®タブレットのオン／オフボタンを押し、上にスワイプしてロックを解除します。
注意事項: toolVibe®タブレットが起動しない場合は、オン／オフボタンを5秒間長押し、起動します。それでも起動しない場合は、toolVibe®タブレットをtoolVibe®タブレット充電ケーブルに接続します。
2. toolVibe®タブレットの設定を開きます。これを行うには、画面上端から下方向にスワイプするか(1)、画面下端から上方向にスワイプします(2)。そこに表示された歯車のマーク(3)をタップします。



3. セットアップでは以下の設定を行ってください：



このエリアではBluetoothとWifi接続を有効化することができます。

- ▲ Bluetooth接続は必ず有効化してください。

注意事項: Bluetooth接続がない場合、toolVibe®との接続はできません。

- ▲ WiFi接続は必ずしも有効にする必要はありません。Wifi接続はデータ転送などに利用することができます。

⚠ 注意事項 ⚠



Bluetooth接続によるセキュリティリスク。

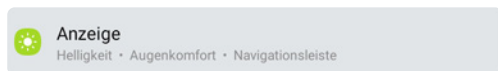
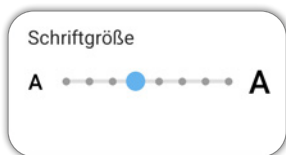
Bluetoothを有効にすると、セキュリティ上のリスクが発生します。
権限のない第三者がtoolVibe®タブレットにアクセスする危険があります。

- ▲ BluetoothはtoolVibe®タブレットを実際に使用しているときにのみ有効化してください。



このエリアでは表示設定を管理することができます。
以下の設定を推奨しています：

- ▲ 文字サイズ： レベル 4
- ▲ 画面ズーム： レベル 2
- ▲ スクリーンのタイムアウト 約30分



このエリアでは位置情報設定を管理することができます。

- ▲ 位置情報へのアクセスは必ず有効化してください。

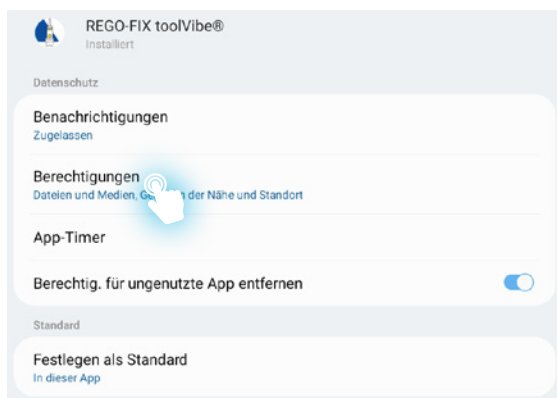
注意事項: 位置情報にアクセスできない場合、toolVibe®アプリは正しく動作することができません。



このエリアにはインストールされているすべてのアプリが表示されます。
各アプリをタップし、それぞれのアプリでの権限を管理することができます。

1. toolVibe®アプリ  をタップします。
2. 権限の項目でtoolVibe®アプリの位置情報アクセスを許可します。

注意事項: 位置情報にアクセスできない場合、toolVibe®アプリは正しく動作することができません。





このエリアでは言語、日付、時刻、キーボード設定などの一般的な設定を管理することができます。

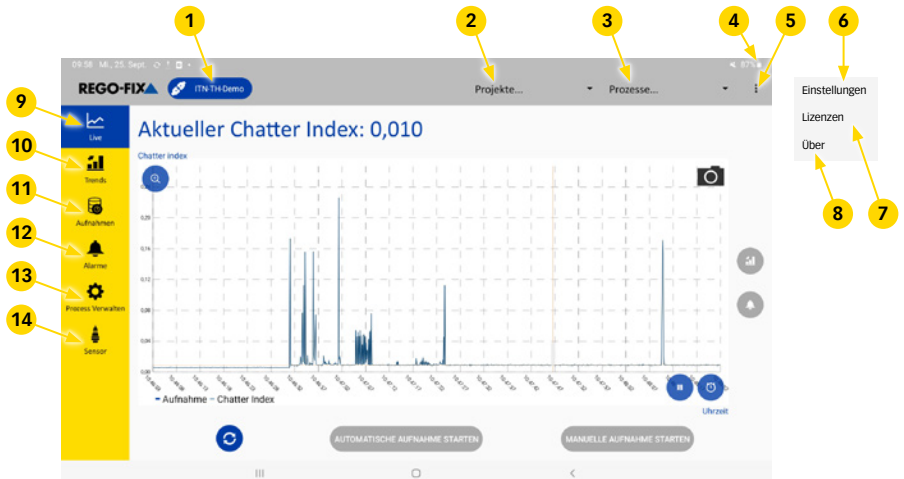


このエリアdはtoolVibe®タブレットのデジタル取扱説明書にアクセスすることができます。
注意事項: これにはインターネット接続が必要になります。

6.5 toolVibe®タブレットとtoolVibe®アプリの操作

注意事項	
	タブレットが入力に反応しなくなったら、強制的に再起動させることができます。 そのためには«オン/オフ»ボタンと«音量下»ボタンを同時に7秒間長押しします。

6.5.1 toolVibe®アプリの構造と説明



1	toolVibe®の選択	8	情報
2	プロジェクトの選択	9	ライブ表示
3	プロセスの選択	10	トレンド表示
4	バッテリー充電レベル	11	記録
5	設定エリア	12	アラーム
6	設定	13	プロセス管理
7	ライセンス	14	センサー

toolVibe®の選択

複数のツールホルダーを使用している場合、プロセスに応じてtoolVibe®を選択できます。

プロジェクトの選択

さまざまなプロジェクトの作成と選択をすることができます。

プロセスの選択

プロセスの作成と選択をすることができます。お客様側で個別に作成したプロジェクトを、特定のtoolVibe®設定で保存することができます。

バッテリー充電レベル

バッテリーの充電レベルをパーセントで表示します。

設定エリア

設定と一般データのサブメニュー。

設定

異なる言語を選択したり、データエクスポートのセパレータを変更したり、生データの記録を有効にすることができます。

ライセンス

ソフトウェアのさまざまなライセンスに関する情報を提供します。

情報

お問い合わせ先やtoolVibe®アプリに関する一般情報をご確認いただけます。

ライブ表示

現在のチャタリング指数をグラフィック表示し、それを記録することができます。

トレンド表示

自動記録による振動値の時間的変化を監視するエリア。上限値と下限値を設定することができます。

記録

過去の自動記録と手動記録の選択とグラフ表示をすることができます。

アラーム

記録の警告リミットを調整することで、現在の振動指数を監視するエリア。

プロセス管理

プロセスデータの指定と変更をすることができます。

センサー

センサーデータの特定と変更をすることができます。

6.5.2 toolVibe®アプリの開閉

toolVibe®アプリを開く

1. toolVibe®タブレットのオン／オフボタンを押し、上にスワイプしてロックを解除します。
注意事項: toolVibe®タブレットが起動しない場合は、オン／オフボタンを5秒間長押し、起動します。それでも起動しない場合は、toolVibe®タブレットをtoolVibe®タブレット充電ケーブルに接続します。
2. toolVibe®アプリのアイコン  をタップします。

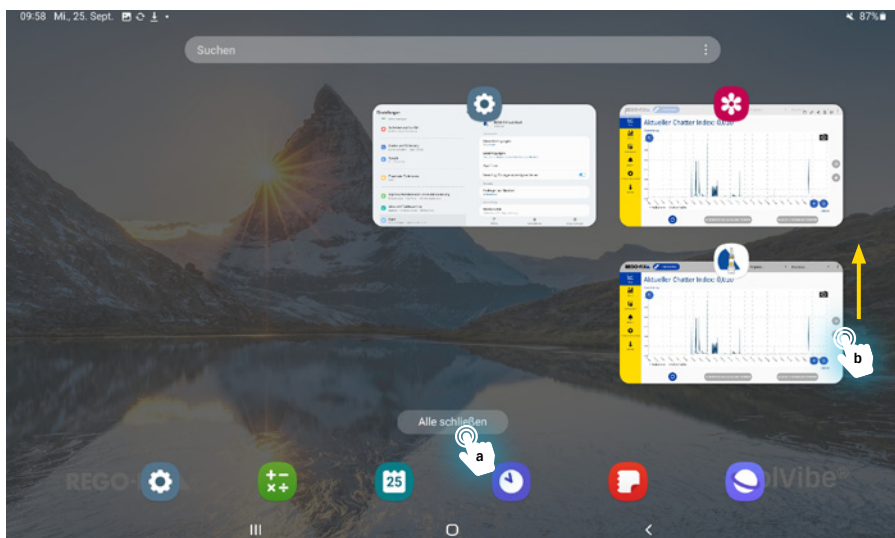


▶ toolVibe®アプリが開きます。

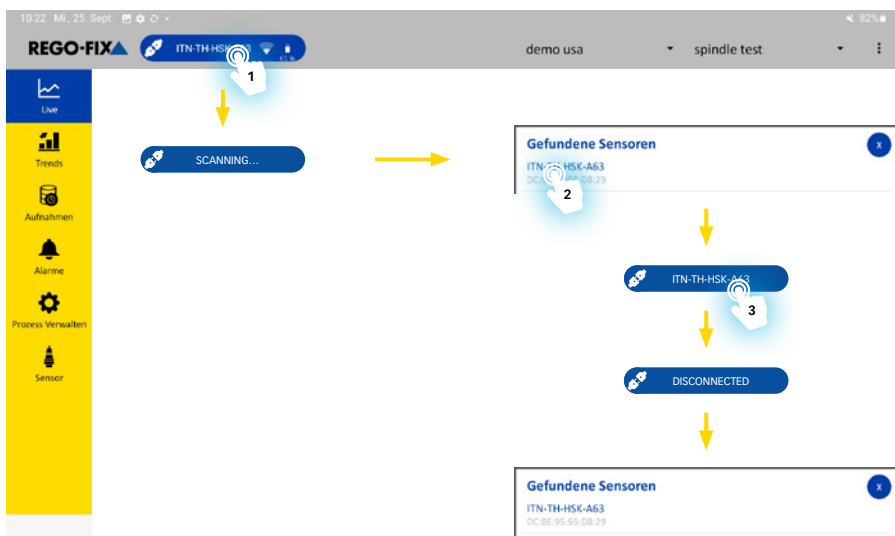
toolVibe®アプリを閉じる/最小化する

1. toolVibe®アプリを閉じるには、3本線のアイコン(1)をタップし以下のいずれかの操作を行います：
 - ▶ «すべて閉じる»をタップしすべてのアプリを閉じる(a)、または
 - ▶ toolVibe®アプリを上にはスワイプして、toolVibe®アプリのみを閉じます(b)。
2. toolVibe®アプリのみを最小化するには下部にある四角いアイコン(2)をタップします
 - ▶ toolVibe®アプリはバックグラウンドでまだ起動しています。





6.5.3 toolVibe®を接続する／接続を切る



toolVibe®を接続する

1. toolVibe®タブレットのBluetooth接続が有効になっていることを確認します ▶ 6.4 [□ 21]。
2. toolVibe®アプリを起動します ▶ 6.5.2 [□ 24]。
3. ≪ITN-TH-DEMO≫をタップレスキャンを開始します(1)。
 - ▶ 接続可能なセンサーのリストが表示されます。

注意事項: 希望のセンサーが表示されない場合は、toolVibe®をtoolVibe®チャージャーに接続し、少し時間をおいてもう一度実行してください。

4. ご希望のセンサーをタップします(2)。

▶ センサーとの接続が確立されると、toolVibe®アプリにデータが表示されます。

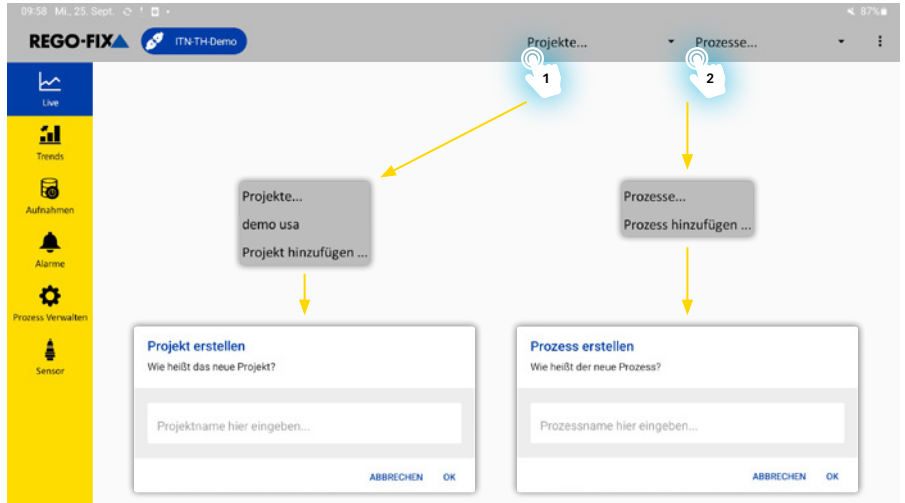
注意事項: 各toolVibe®の名前は、表示モード《センサー》で変更できます ▶ [表示モード・センサー](#) [38]。

toolVibe®の接続を切る

- ▲ センサー名の選択フィールドをタップします(3)。

▶ 接続が切断され、接続可能なセンサーのリストが表示されます。

6.5.4 プロジェクトとプロセスの作成



プロジェクトの作成

1. toolVibe®アプリを起動します ▶ [6.5.2](#) [24]。
2. 《プロジェクト》のボタンをタップします(1)。
▶ サブメニュー《プロジェクト》が開きます。
3. 《プロジェクトを追加》のボタンをタップします。
4. プロジェクト名を入力します。
5. 《OK》ボタンをタップしプロジェクトを保存します。
▶ プロジェクトがサブメニュー《プロジェクト...》に表示されます。

プロセスの作成

1. それに属するプロジェクトが作成されていることを確認してください。
2. 《プロセス...》をタップします(2)。
▶ サブメニュー《プロセス...》が開きます。
3. 《プロセスを追加...》ボタンをタップします。
4. プロセス名を入力します。
5. 《OK》ボタンをタップしプロセスを保存します。
▶ プロセスがサブメニュー《プロセス...》に表示されます。

注意事項: 表示モード《プロセス管理》ではプロジェクトとプロセスの名称変更、変更、移動、コピーをすることができます ▶ [表示モード・プロセス管理](#) [37]。

6.5.5 スクリーンショットの作成



toolVibe®アプリでスクリーンショットを作成するには、2つの方法があります：

- ▲ オン/オフボタンと音量下げボタンを同時に短く押します(1)。

注意事項: この方法ではtoolVibe®アプリ以外でもスクリーンショットを撮影することができます。

- ▶ スクリーンショットはギャラリーに保存されます。または

- ▲ toolVibe®アプリのカメラボタンをタップします(2)。

注意事項: この機能は、表示モード・ライブ表示、トレンド表示、記録でのみで利用できるものです。

- ▶ スクリーンショットはギャラリーに保存されます。

スクリーンショットの呼び出し

スクリーンショットはギャラリーに保存されています。

1. 画面下部の中央にある四角いシンボルを押して、toolVibe®タブレットのスタート画面を開きます。
2. ギャラリーボタンをタップします。
 - ▶ ギャラリーが開き、スクリーンショットを呼び出すことができます。

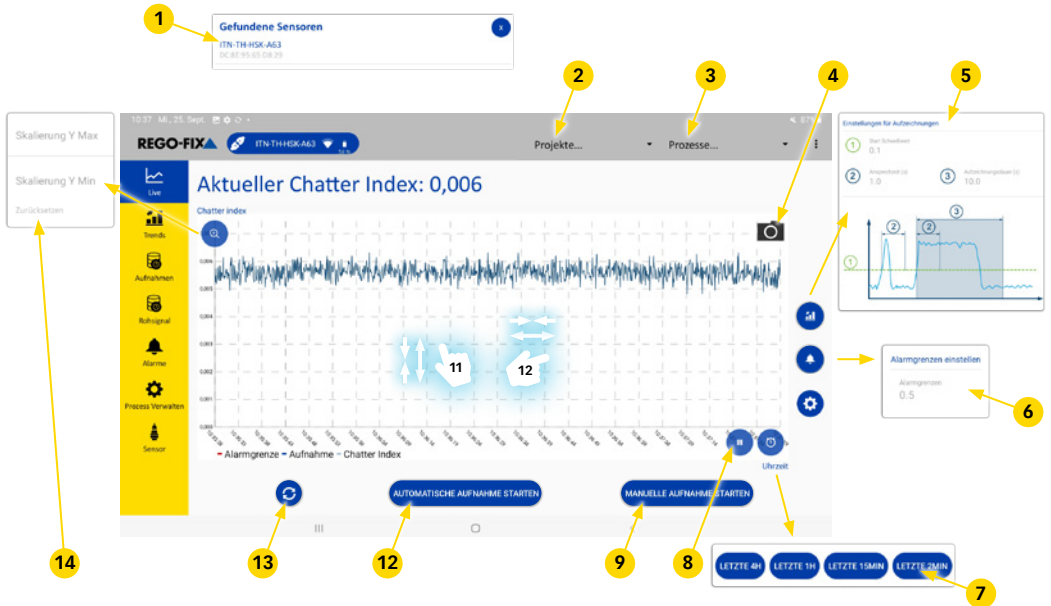


6.5.6 toolVibe®アプリの表示モード

対応するボタンをタップすることで異なる表示モードを選択することができます。

表示モード・ライブ

表示モード・ライブではtoolVibe®を選択することができます。センサーの振動データが中央の図に表示されます。過去4時間以内にtoolVibe®アプリに接続された他のセンサーのデータも中央のグラフに表示することができます。



1	センサーの選択
2	プロジェクトの選択
3	プロセスの選択
4	カメラボタン
5	自動記録設定メニュー
6	警告リミット設定メニュー
7	時間範囲選択ボタン
8	表示の停止
9	手動記録の開始/停止ボタン
10	手動ズーム(X軸)
11	手動ズーム(Y軸)
12	自動記録有効化/停止ボタン
13	表示をリセット
14	Y軸スケールパラメーターの設定メニュー

センサーの選択

toolVibe®アプリに接続されたセンサーからのデータを選択、アクセスすることができます ▶ 6.5.3 [図 26]。

プロジェクトの選択

事前に作成されているプロジェクトを選択することができます ▶ 6.5.4 [図 27]。

プロセスの選択

事前に作成されているプロセスを選択することができます ▶ 6.5.4 [図 27]。

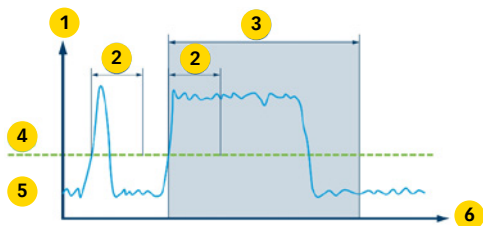
カメラボタン

中央グラフのスクリーンショットを作成することができます ▶ 6.5.5 [図 28]。

スクリーンショットはギャラリーに保存されます。

自動記録設定メニュー

自動記録のためのプロセス・パラメーターの設定をすることができます。



1	茶ったリング指数
2	応答時間 [秒]
3	記録時間 [秒]
4	開始閾値 [チャッタリング指数]
5	現在のチャッタリング指数
6	時間

警告リミット設定メニュー

自動および手動記録のライブ・警告リミットを設定することができます。警告リミットは中央のグラフに赤い線で表示されます。アラームが作動した場合、アラームボタンに赤い点が表示され、表示モード・アラームに表示されます ▶ 表示モード・アラーム [図 36]。

時間範囲選択ボタン

中央のグラフに表示するデータの時間範囲を選択することができます。

表示の停止

中央グラフの表示を一時停止します。これにより、自動拡大縮小が停止され、手動ズームでの詳細な表示が可能になります。

手動記録の開始／停止ボタン

手動記録を開始(青)または停止(赤)するためのボタン。記録はボタンを押した直後に開始されます。

注意事項: 手動記録の際にバックグラウンドは青くなりません。手動記録は記録モードでのみ有効で、トレンドモードでは使用できません。

手動ズーム(X軸)

指のピンチ操作で、X軸(時間)のグラフ表示を必要に応じて拡大または縮小することができます。

手動ズーム(Y軸)

指のピンチ操作で、Y軸(チャッタリング指数)のグラフ表示を必要に応じて拡大または縮小することができます。

自動記録有効化／停止ボタン

自動記録を有効化(青)または停止(赤)するためのボタン。自動記録が有効になっている場合、自動記録設定メニューで設定されたパラメーターに応じて記録が開始されます。記録中はバックグラウンドが青くなります。

注意事項: バックグラウンドは自動記録の場合にのみ青くなります。

表示をリセット

軸のスケールパラメータとライブ・グラフの手動ズームの設定をリセットすることができます。

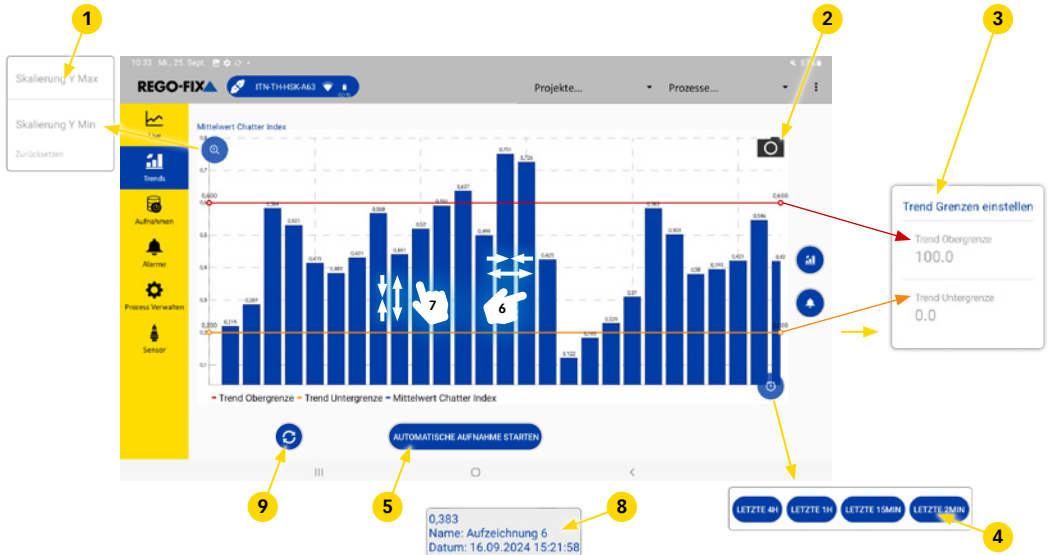
Y軸スケールパラメーターの設定メニュー

中央グラフのY軸のスケールパラメータの設定およびリセットをすることができます。

表示モード・トレンド

表示モード・トレンドでは、自動記録の各記録から平均値を求めることができます。
平均値は中央グラフに比較のために表示したり、限界値の定義にも利用することができます。

注意事項:トレンドは、選択したプロセスの記録が存在する場合にのみ表示することができます。



- | | |
|---|---------------------|
| 1 | Y軸スケールパラメーターの設定メニュー |
| 2 | カメラボタン |
| 3 | トレンドリミット設定メニュー |
| 4 | 表示されるバー数選択ボタン |
| 5 | 自動記録有効化／停止ボタン |
| 6 | 手動ズーム(X軸) |
| 7 | 手動ズーム(Y軸) |
| 8 | バー固有の情報 |
| 9 | 表示をリセット |

Y軸スケールパラメーターの設定メニュー

中央グラフのY軸のスケールパラメータの設定およびリセットをすることができます。

カメラボタン

中央グラフのスクリーンショットを作成することができます ▶ 6.5.6 [図 29]。スクリーンショットはギャラリーに保存されます。

トレンドリミット設定メニュー

トレンドリミットを設定することができます。トレンドの上限と下限は中央のグラフに色のついた線で表示されます。トレンドアラームがトリガーされると、表示モード・アラームでリストアップされます ▶ 表示モード・アラーム [図 36]。

表示されるバー数選択ボタン

中央のグラフに表示するバー数を選択することができます。

自動記録有効化／停止ボタン

自動記録を有効化(青)または停止(赤)するためのボタン。自動記録が有効になっている場合、自動記録設定メニューで設定されたパラメーターに応じて記録が開始されます。

手動ズーム(X軸)

指のピンチ操作で、X軸(バー数)のグラフ表示を必要に応じて拡大または縮小することができます。

手動ズーム(Y軸)

指のピンチ操作で、Y軸(チャタリング指数)のグラフ表示を必要に応じて拡大または縮小することができます。

バー固有の情報

バーをタップすると、個々の記録に関する情報が表示されます。

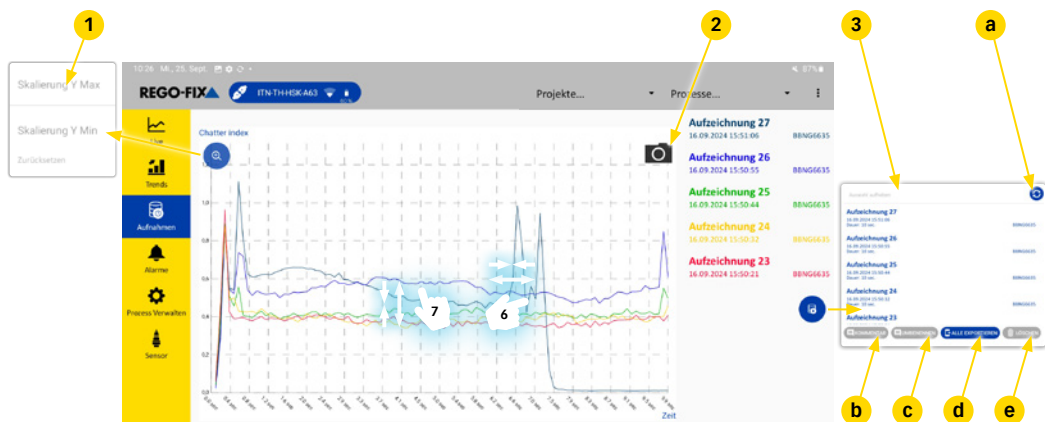
表示をリセット

軸のスケールパラメータとトレンドグラフの手動ズームの設定をリセットすることができます。

表示モード・記録

表示モード・記録ではプロセスの全ての手動および自動記録がリストアップされます。必要に応じて、異なる記録を中央のグラフに異なる色の線で表示することができます。

注意事項: 中央グラフの右側にある凡例では、それぞれの色の線に記録が割り当てられています。



1 Y軸スケールパラメーターの設定メニュー

2 カメラボタン

3 記録されたプロセス一覧

4 手動ズーム(Y軸)

5 手動ズーム(X軸)

Y軸スケールパラメーターの設定メニュー

中央グラフのY軸のスケールパラメータの設定およびリセットをすることができます。

カメラボタン

中央グラフのスクリーンショットを作成することができます ▶ 6.5.5 [図 28]。

スクリーンショットはタブレットのギャラリーから呼び出すことができます。

記録されたプロセス一覧

記録されたすべてのプロセスのリスト。プロセスを選択し、中央グラフに色のついた線で表示することができます。

以下の機能が用意されています：

- ▲ 記録リストの再読み込み(a)
- ▲ 選択した記録へのコメント追加(b)
- ▲ 選択した記録の名称変更(c)
- ▲ 選択された記録をCSVファイル形式でエクスポート
 - ▶ 記録をエクスポート／エクスポートした記録の管理 [図 33] (d)

注意事項: CSVファイルの小数点以下の区切り記号("."または",")は設定で変更することができます

▶ 6.5.1 [図 23]。

- ▲ 選択された記録を削除(e)

手動ズーム(Y軸)

指のピンチ操作で、Y軸(チャタリング指数)のグラフ表示を必要に応じて拡大または縮小することができます。

手動ズーム(X軸)

指のピンチ操作で、X軸(時間)のグラフ表示を必要に応じて拡大または縮小することができます。

記録をエクスポート／エクスポートした記録の管理

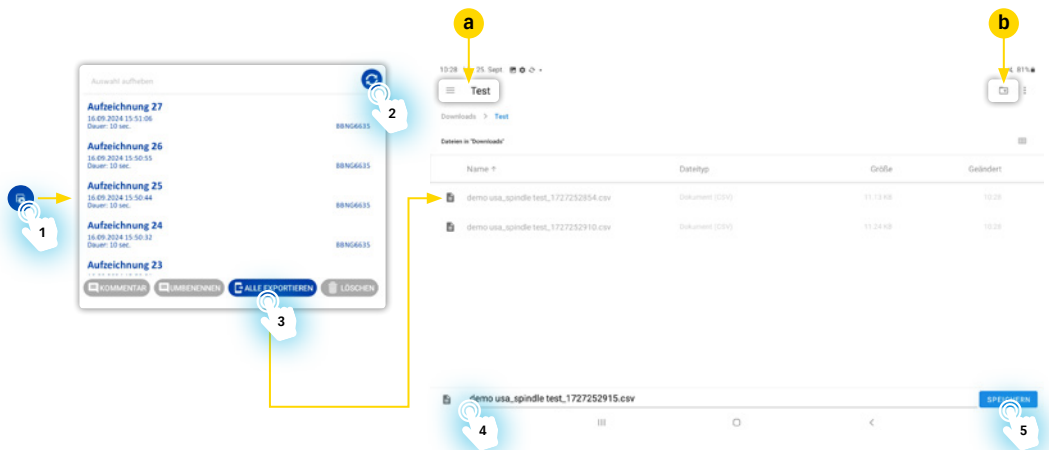
記録をエクスポート

表示モード・記録では、データをCSVファイル形式でエクスポートすることができます。

これは以下の手順で行います。

注意事項: CSVファイルの小数点以下の区切り記号("."または",")は設定で変更することができます

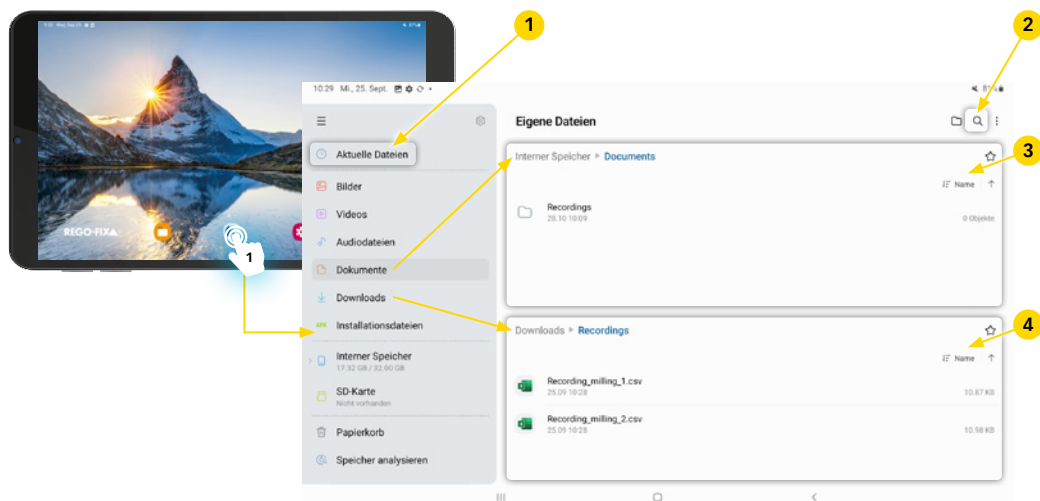
▶ 6.5.1 [図 23]。



1. ボタンをタップして、記録されたプロセス一覧を開きます。
2. データをエクスポートしたい記録を選択します。
3. «エクスポート»をタップしデータの保存場所を指定します。
▶ 保存先フォルダは指定(a)または新規作成(b)することができます。
4. 必要な場合、エクスポートされたデータの名前を変更します。
注意事項: 拡張子.csvはファイル形式を示すものですので、この部分は変更しないでください。
5. «保存»ボタンをタップし、データをエクスポートします。

エクスポートされた記録の検索

エクスポートしたデータにアクセスするには、「私のファイル」ボタンを開きます。



- | | |
|---|--------|
| 1 | 現在のデータ |
| 2 | 検索 |
| 3 | ドキュメント |
| 4 | ダウンロード |

現在のデータ

«現在のデータ»では最後に保存されたデータを見ることができます。

検索

«検索»ではデータ名からデータを検索することができます。

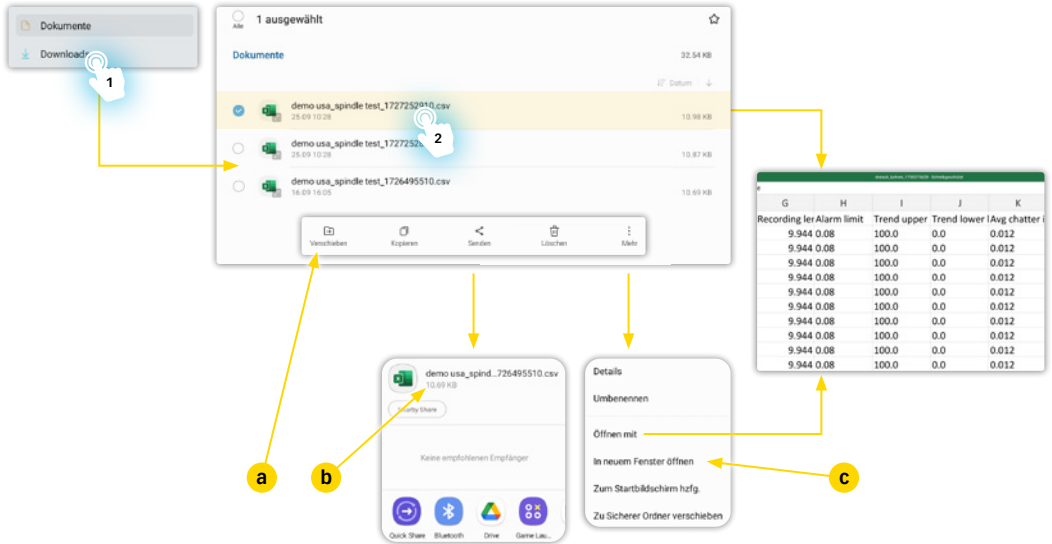
ドキュメント

«ドキュメント»では全てのフォルダの一覧を見ることができます。ここでご希望のデータを開くことができます。

ダウンロード

«ダウンロード»では最後にダウンロードされたデータを見ることができます。

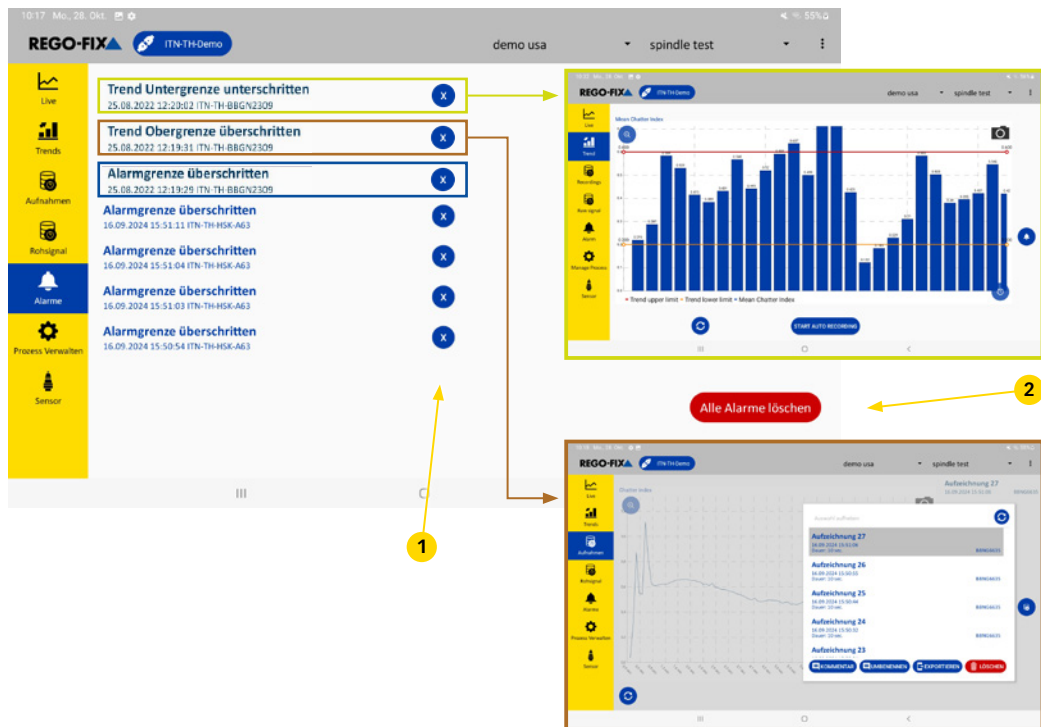
エクスポートされた記録の管理



- ご希望のデータが入ったフォルダを開きます。
- そのファイルをタップし数秒間指を置いたままにします。
▶ 選択バー (a) が開き、ファイルを共有 (b) 又は名称変更 (c) することができます。
- ファイルを開くにはファイルをタップします。特別なプログラムでファイルを開きたい場合は、ファイルに数秒間指を置いたままにし、選択バー (a) の《もっと》と《プログラムで開く》をタップします。

表示モード・アラーム

表示モード・アラームでは、最近発生したすべてのアラームが表示されます。



個別にアラームを削除するには「X」ボタンをタップします(1)。
すべてのアラームを削除するには「すべてのアラームを削除」ボタンをタップします(2)。

アラームは3種類あります：

- ▲ トrend表示での下限値を下回った場合のアラーム
- ▲ ライブ表示での限界値を超えた場合のアラーム
- ▲ トrend表示での上限値を上回った場合のアラーム

アラームの詳細については、それぞれのアラームをタップします。アラームをタップすると、Trend表示または記録表示が開き、アラームが該当する記録を選択します。

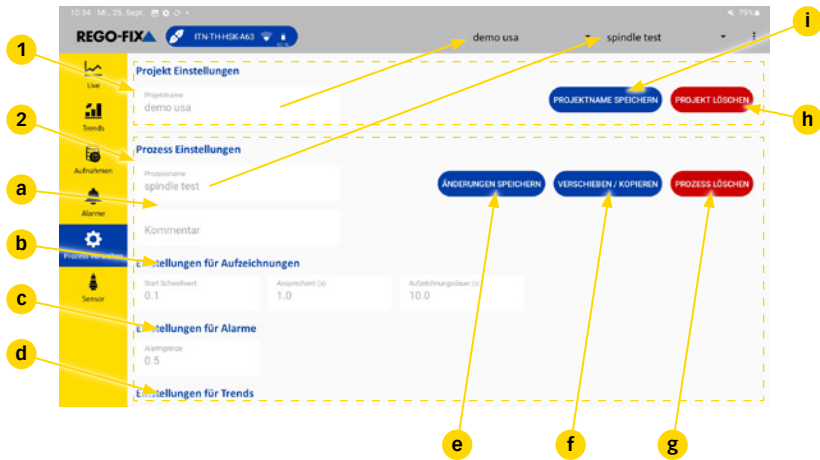
注意事項: それぞれのTrend限界値は表示モード・Trendで定義することができます

▶ 表示モード・Trend [31]。

表示モード・プロセス管理

表示モード・プロセス管理ではプロセスとプロジェクトの設定を管理することができます。

注意事項: 事前に作成されているプロセスやプロジェクトのみを管理することができます ▶ 6.5.4 [図 27]。



1 プロジェクト設定エリア

2 プロセス設定エリア

注意事項: すべての領域が表示されていない場合は、スクロールダウンするか、タブレットの文字サイズを調整してください。

プロジェクト設定エリア

このエリアではプロジェクト名を変更したり、プロジェクトを削除することができます。

- ▲ 新しいプロジェクト名を保存するボタン(i)
- ▲ プロジェクトを削除するボタン(h)

留意! プロジェクトが削除されると、そこに含まれるすべてのプロセスも削除されます!

プロセス設定エリア

このエリアでは、選択したプロセスの名称を変更したり、コメントを追加したり、削除することができます。

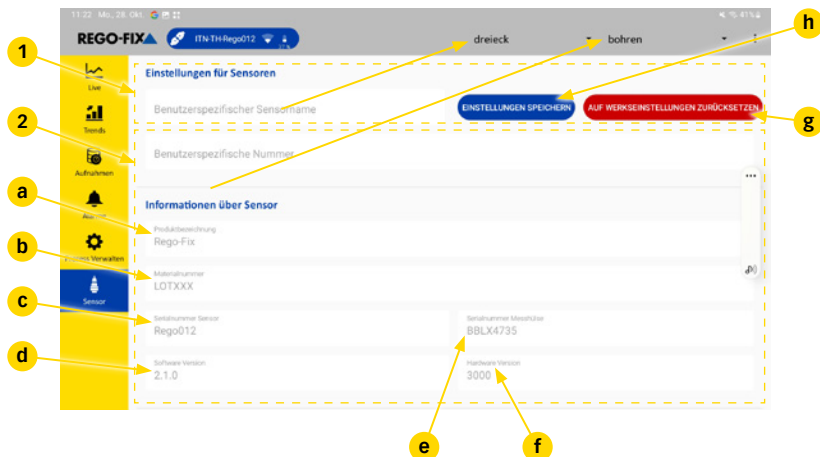
- ▲ プロセス名を変更、または、コメントを追加(a)。

注意事項: プロセス名は必ず必要なものです。

- ▲ 自動記録の設定エリア(b)。
- ▲ 表示モード・ライブからのアラームを設定するエリア(c)。
- ▲ 表示モード・トレンドからのアラームを設定するエリア(d)。
- ▲ 変更を保存するボタン(e)。
- ▲ プロセスを別のプロジェクトに移動(記録を含む)またはコピー(記録を含まない)するためのボタン(f)。
- ▲ プロセスを削除するボタン(g)。

表示モード・センサー

表示モード・センサーでは、それぞれのセンサーに関する情報を設定し、呼び出すことができます。



- | | |
|---|---------------|
| 1 | センサー設定のエリア |
| 2 | センサーに関する情報エリア |

注意事項: すべての領域が表示されていない場合は、スクロールダウンするか、タブレットの文字サイズを調整してください。

センサー設定のエリア

このエリアではセンサー名と番号を設定、変更することができます。

新しい設定は接続を一度切断し、再接続した後にtoolVibe®に表示されます ▶ 6.5.3 [26]。

- ▲ 変更した設定を保存するボタン(h)。
- ▲ 設定をリセットするボタン(g)。

注意事項: センサーの名前は、それに対応する toolVibe® のシリアル番号(c)にリセットされます。

センサーに関する情報エリア

このエリアではセンサーに関する情報が表示されます。

注意事項: このエリアの情報は、お客様側で変更することはできません。

- ▲ 製品名称(a)
- ▲ 材料番号(b)
- ▲ toolVibe®(c)のシリアル番号
- ▲ ソフトウェアのバージョン(d)
- ▲ 電子機器のシリアル番号(e)
- ▲ ハードウェアバージョン(f)

6.5.7 生データ記録

生データ記録では、toolVibeセンサーの未処理の加速度データを記録できます。

生データ記録は追加機能です。チャタリング指数ではなく、加速度データでより詳細に分析する用途に適しています。

記録された生データはCSVファイル形式でエクスポートでき、測定、分析、評価システムで評価、分析、表示することができます。

前提条件

生データの記録追加機能を使用するための条件は以下の通りです：

- ▲ OSバージョン Android 12以降のtoolVibe®タブレット
- ▲ toolVibe®アプリのバージョン2.1(17)以降
- ▲ toolVibe®センサー、ソフトウェアバージョン2.1.0以降
- ▲ 生データ記録が有効化されている

toolVibe®タブレットとアプリの要件の点検

1. toolVibe®アプリの設定エリアを開きます ▶ 6.5.1 [□ 23]。
2. «情報»のエリアを選択します。
 - ▶ toolVibe®タブレットのOSバージョンが表示されます。
 - ▶ toolVibe®アプリのバージョンが表示されます。

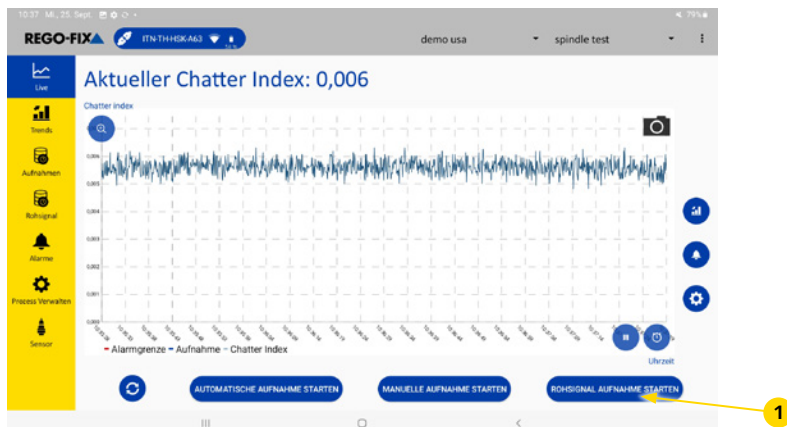
toolVibe®センサーの要件を確認します。

1. toolVibe®センサーを接続します ▶ 6.5.3 [□ 26]。
2. «センサー»のエリアを選択します ▶ 表示モード・センサー [□ 38]。
 - ▶ toolVibe®センサーのソフトウェアバージョンは、«センサーに関する情報»エリアに表示されます。

生データ記録を有効化します。

1. toolVibe®アプリの設定エリアを開きます ▶ 6.5.1 [□ 23]。
2. «設定»エリアを選択します。
3. スライダー«toolVibe®タブレット生データ»をタップします。
 - ▶ スライダーが右に動き、青くなります。
 - ▶ 表示モード・ライブに«生信号記録開始»ボタンが表示されます。
 - ▶ 表示モード・生データがサイドバーに表示されます。

生データの記録



1 生信号記録開始ボタン

生データの記録の開始

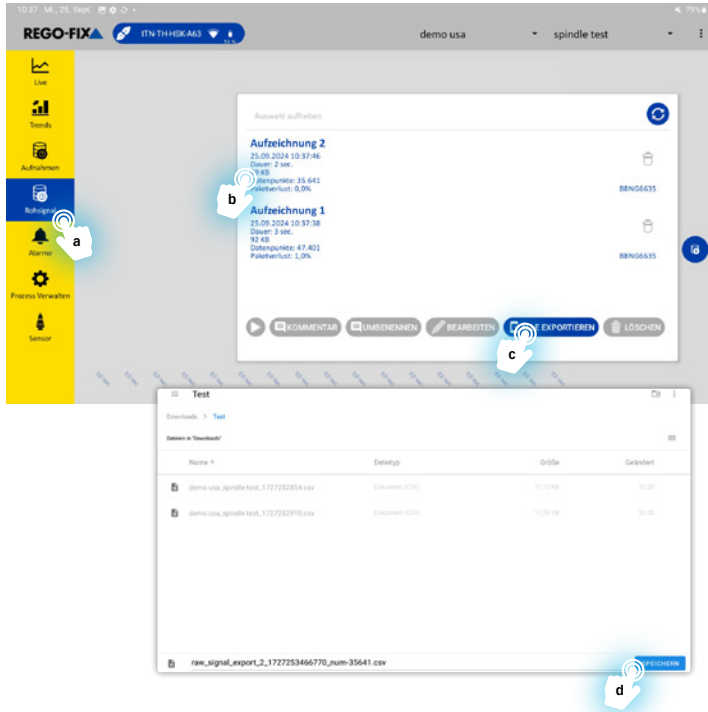
1. 表示モード・ライブを選択します ▶ 6.5.1 [23].
2. 青い《生信号記録開始》ボタンを選択します。
 - ▶ 生データの記録が開始されます。
 - ▶ 《生信号記録開始》ボタンが赤くなります。

注意事項: 生データの記録は、手動および自動記録と並行して行うことができます。
記録はプロジェクトとプロセスが選択されている場合にのみ開始できる点にご注意ください。

生データ記録の停止

1. 表示モード・ライブを選択します ▶ 6.5.1 [23].
2. 赤い《生信号記録停止》ボタンを選択します。
 - ▶ 生データの記録が停止されます。
 - ▶ 《生信号記録開始》ボタンが青くなります。

生データのエクスポート



1. CSVファイルの小数点セパレータが正しく設定されていることを確認してください ▶ 6.5.1 [📄 23]。
2. サイドバーの表示モード・生データを選択します(a)。
3. 生データをエクスポートしたい記録を選択します(b)。
注意事項: 一度にエクスポートできる記録は1つのみです。
4. «エクスポート»をタップしデータの保存場所を指定します(c)。
5. 必要な場合、エクスポートするデータの名前を変更します。
注意事項: 拡張子.csvはファイル形式を示すものですので、この部分は変更しないでください。
6. «保存»ボタンをタップしデータをエクスポートします(d)。

6.6 toolVibe®タブレットの充電

toolVibe®タブレットの充電には付属のtoolVibe®タブレット充電ケーブルとtoolVibe®パワープラグのみを使用してください。**注意!過充電の危険がありますので、toolVibe®タブレットは1週間以上充電しないでください。**toolVibe®タブレットの充電に関する詳細は、タブレット製造元の取扱説明書をご覧ください。

注意事項: 取扱説明書は toolVibe®ケースに同梱されています。

6.7 toolVibe®タブレットの清浄

タッチディスプレイを清浄する際は、以下の点に注意してください：

- ▲ 清浄前にtoolVibe®タブレット充電ケーブルをtoolVibe®タブレットから外します。
- ▲ 清浄には中性洗剤をわずかに含ませた柔らかい布またはスポンジを使用してください。
- ▲ 表面を傷つけるような布やスポンジは使用しないでください。
- ▲ タッチディスプレイは窓用またはガラス用のクリーナーを吹きかけた柔らかい清潔な布またはスポンジで清浄してください。タッチスクリーンに洗剤を絶対に直接吹きかけないでください。アルコール（メチルアルコール、エチルアルコール、イソプロピルアルコール）、シンナー、ガソリン、その他の強い洗剤は使用しないでください。

USB-C充電ポートを清浄する際は、以下の点にご注意ください：

- ▲ 充電接続部の清浄には、液体や化学薬品を使用しないでください。
- ▲ 充電接続部の清浄は、適切な工具を使用して慎重に行ってください。

6.8 保管

toolVibe®タブレットを長期間保管する場合は、以下の点にご注意ください：

- ▲ toolVibe®タブレットは適切な運搬用ケースに入れて保管してください。
- ▲ toolVibe®タブレットは必ず乾燥した場所に保管してください。
- ▲ toolVibe®タブレットを極端な温度の変化から保護してください。
- ▲ 技術データに記されている保管時の温度指定をご確認ください。



7. トラブルシューティング

修理はREGO-FIXのみが実施するものです。

整備や修理に関するご質問は、テクニカル・カスタマー・サービスまでお問い合わせください。
営業時間内で受付けています：

サービス電話：+41 61 976 1466
pm@rego-fix.com

考えられる不具合／エラーの発生	考えられる原因	対応措置
toolVibe®が接続されない	toolVibe®が充電されていない	toolVibe®を充電します
	誤ったtoolVibe®(名称)が選択されている	選択した名称を確認します
	toolVibe®をタブレットの無線が届かない位置で使用している	toolVibe®／タブレット間の距離を縮めます
	障害物が安定した接続を妨げている	toolVibe®とtoolVibe®タブレットの間に ▲ 障害物、 ▲ 操作員、 ▲ 何層もの金属がないように タブレットの位置を変えます
	周囲に妨害信号	周囲に他のBluetooth機器がないかを点検
toolVibe®は接続されているが振動が表示されない	Bluetoothがオフ	Bluetoothを有効化します
	toolVibe®アプリの誤動作	toolVibe®アプリを再起動します
toolVibe®が充電されない	充電ケーブルがtoolVibe®の接点に正しく接続されていない	toolVibe®の充電接点に接触しているかを確認します
	toolVibe®の充電接点が汚れている	充電接点を清浄します
	toolVibe®充電ケーブルの充電ピンに汚れまたは破損がある	充電ピンを清浄します
	コンセントに通電がない	コンセントを点検します
	プラグ接続、USBが緩んでいる	プラグ接続を点検します
	toolVibe®充電ケーブルに破損がある	toolVibe®充電ケーブルをREGO-FIXに返送します
	toolVibe®パワープラグに破損がある	toolVibe®パワープラグをREGO-FIXに返送します

考えられる不具合／エラーの発生	考えられる原因	対応措置
toolVibe®タブレットが充電されない	toolVibe®タブレット、toolVibe® パワープラグ、toolVibe®充電 ケーブルの充電接点が汚 れている	充電接点を清浄します
	コンセントに通電がない	コンセントを点検します
	プラグ接続、USBが緩んでいる	プラグ接続を点検します
	toolVibe®タブレットに破損 がある	toolVibe®タブレットを REGO-FIXに返送します
	toolVibe®パワープラグに破損 がある	toolVibe®パワープラグを REGO-FIXに返送します

8. 廃棄



- ▲ 本製品を一般ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の回収・リサイクルには、必ず回収／リサイクルセンターをご利用ください。
 - ▲ 製品の構成部品は、地域の規制に従ってリサイクルする、または、適切に廃棄してください。
- あるいは、製品をREGO-FIXに送り、適切な廃棄を依頼することもできます。

9. EU適合宣言

欧州指令 2014/53/EU 附属書 VI準拠

製造元／販売元

REGO-FIX AG
Obermattweg 60, CH-4456 Tenniken, スイス

当社は、以下の製品が、宣言の時点において、機械に関する欧州議会および理事会指令 2014/53/EU の本質的な安全衛生要件すべてに適合していることをここに宣言します。製品に変更が加えられた場合、この宣言は効力を失います。

製品名称一部品番号	toolVibe® セット	7580.00000
	HSK-A 63 / PG 15 × 120 TV	5563.91560
	HSK-A 63 / PG 25 × 120 TV	5563.92560
	HSK-A 63 / PG 32 × 120 NL TV	5563.93260
	HSK-A 100 / PG 32 × 125 TV	5500.93260
	HSK-E 40 / PG 15 × 100 TV	5540.91550
	SK+ 40 / PG 25 × 105 TV	5540.92556
	SK+ 50 / PG 25 × 105 TV	5550.92556
	BT+ 30 / PG 15 × 100 TV	5130.91556
	BT+ 40 / PG 25 × 125 TV	5140.92556
	CAT+ 40 / PG 15 × 4» TV	5340.91556
	CAT+ 40 / PG 25 × 4.3» NL TV	5340.92556
	C6 / PG 25 × 120 TV	5806.92560
	VS 22 × 40 TV	7581.22400

適用されている整合規格と技術仕様：

EN 61326-2-3	計測用、制御用及び試験室用の電気装置－電磁両立性(EMC)要件、第2-3部：特別要件－内蔵又は遠隔信号調整機能付き測定量トランスデューサの点検指定、使用条件及び性能特性(IEC 61326-2-3:2020)；ドイツ語版 EN IEC 61326-2-3:2021
EN 61326-1	計測用、制御用及び試験室用の電気装置－電磁両立性(EMC)要件、第1部：一般要件(IEC 61326-1:2020)；ドイツ語版 EN IEC 61326-1:2021
EN IEC 61000-6-2:2019	電磁両立性(EMC)、第6-2部：共通規格－工業環境のエミッション耐性規格
EN IEC 61000-6-4:2019	電磁両立性(EMC)、第6-4部：共通規格－工業環境のエミッション放射規格
EN 301 489-1 V2.2.3 2019-11	電磁両立性(EMC)－無線機器及び無線サービスに関する規格、第1部：共通技術要件－電磁両立性の整合規格
EN 300 328 V2.2.2 2019-07	広帯域通信システム－2.4Ghz帯におけるデータ通信機器－無線周波数利用のための整合規格

さらに、本製品は以下の規格およびEU指令への適合を宣言します:

DIN EN ISO 12100	機械安全性
2014/30/EU	EMC指令
2014/53/EU	無線設備指令
2011/65/EU	特定有害物質使用制限指令

Tenniken, 2025年3月12日

Richard Weber
Richard Weber, CEO



Pascal Forrer, CEO(次期)



Ref. Certif. No.

CH1-00035

**IEC SYSTEM FOR MUTUAL RECOGNITION OF TEST CERTIFICATES FOR ELECTRICAL EQUIPMENT
(IECEE) CB SCHEME**

CB TEST CERTIFICATE

Product

Sensory toolholder with Bluetooth

Name and address of the applicant

REGO-FIX AG, Obermattweg 60, 4456 Tenniken,
SWITZERLAND

Name and address of the manufacturer

REGO-FIX AG, Obermattweg 60, 4456 Tenniken,
SWITZERLAND

Name and address of the factory

REGO-FIX AG, Obermattweg 60, 4456 Tenniken,
SWITZERLAND

Note: When more than one factory please report on page 2

☐ Additional Information on page 2

Ratings and principal characteristics

EUT: battery operated, charging voltage: 5 VDC
Power Supply: 110 – 240 VAC, 50/60 Hz, max 20 W

Trademark / Brand (if any)

REGO-FIX toolVibe®

Customer's Testing Facility (CTF) Stage used

./.

Model / Type Ref.

toolVibe®
Additional information on page 2

Additional information (if necessary may also be
reported on page 2)

National Differences: EU group differences, US, CA, KR

☒ Additional Information on page 2

A sample of the product was tested and found
to be in conformity with

IEC 61326-2-3:2020

As shown in the Test Report Ref. No. which
forms part of this Certificate

EMCKP6501A

This CB Test Certificate is issued by the National Certification Body



EMC-Testcenter AG
Moosackerstrasse 77
8105 Regensdorf
SWITZERLAND

Date: 2025-07-07

Signature: Ulrike HIEGEMANN





Ref. Certif. No.

CH1-00035

Additional information for Model / Type Ref.:

The toolVibe® sensor was tested with the mechanical shaft type HSK-A 63 / PG 25 x 120 TV. The following modules only differ in the mechanical shaft types, the sensor is always toolVibe®:

BT+ 30 / PG 15 x 100 TV
BT+ 40 / PG 25 x 120 TV
SK+ 40 / PG 25 x 120 TV
SK+ 50 / PG 25 x 105 NL TV
CAT+ 40 / PG 15 x 4" TV
CAT+ 40 / PG 25 x 4.3" TV
HSK-E 40 / PG 15 x 100 TV
HSK-A 63 / PG 15 x 120 TV
HSK-A 63 / PG 25 x 120 TV
HSK-A 63 / PG 32 x 120 NL TV
HSK-A 100 / PG 32 x 125 TV
C6 / PG 25 x 120 TV
VS 22 X 40 TV

Additional Standards:

IEC 61326-1:2012 (ed.2)
IEC 61326-1:2020 (ed.3)
IEC 61000-6-2:2016
IEC 61000-6-4:2018
CISPR 11:2015 class A
CISPR 11:2015/AMD1:2016 class A
CISPR 11:2015/AMD2:2019 class A
IEC 61000-3-2:2014 (ed.4)
IEC 61000-3-2:2018 (ed.5)
IEC 61000-3-2:2018/AMD1:2020
IEC 61000-3-3:2013 (ed.3)
IEC 61000-3-3:2013/AMD1:2017
IEC 61000-3-3:2013/AMD2:2021

Additional information (if necessary)

EMC-Testcenter AG
Moosackerstrasse 77
8105 Regensdorf
SWITZERLAND

Date: 2025-07-07

Signature: Ulrike HIEGEMANN



